

日吉山王社は比叡山の守護神なり、東坂本にあり。本社七座、撰社十四坐、凡廿一社なり。例祭四月中申日。

大己貴命 国常立一尊 聖真子 正哉吾勝尊 国狭槌尊
大宮 二宮 薬師 阿弥陀 八王子 千手観音
本地釈迦

伊弉册尊 瓊々杵尊 惶彦尊 又豊斟淳尊 以上七社
客人 本地十一面観音 十禅師 地蔵 普賢
三宮

天御中主尊 王子宮 建御名尊 素盞鳴尊 高皇産霊尊
下八王子宮 虚空蔵 文珠 早尾 不働 大行事 毘沙門
聖女 如意輪 新行事 吉祥天女 八王子の御子 小禅師 弥勒龍樹

深秘 岩瀧 踏鞴姫命 仲哀天皇 素盞鳴変神
愛染 辯財天 氣比 聖観音 不動

悪王子 大威徳 大威徳 大威徳

大竈 大日 大竈殿 金剛界大日 以上十四社

澳津彦命 澳津姫命 澳津彦命 澳津姫命

若宮

国常立尊

護国

二条院勅附

女别当社

唐崎の神社

比叡辻に有

なり

大宮出現の地なり

聖真子宮によみて奉りける

続後撰

やはらぐる光はへだてあらしかし西の雲井の秋の夜の月

都良仙

日吉によみて奉りける歌の中に大宮を

いにしへの鶴の林に散花の匂ひをよするしがのうら風

後京極撰政

久かたの天津日吉の神まつり月のかつらも光そへけり

尊円